

VI 下丸子駅周辺地区の将来都市構造

当地区の『まちづくりコンセプト』及び『目指すまちの姿』の実現に向けた将来都市構造を、3つのゾーンと4つのネットワークにより、以下の概念図のとおり整理しました。

〈3つのゾーン〉

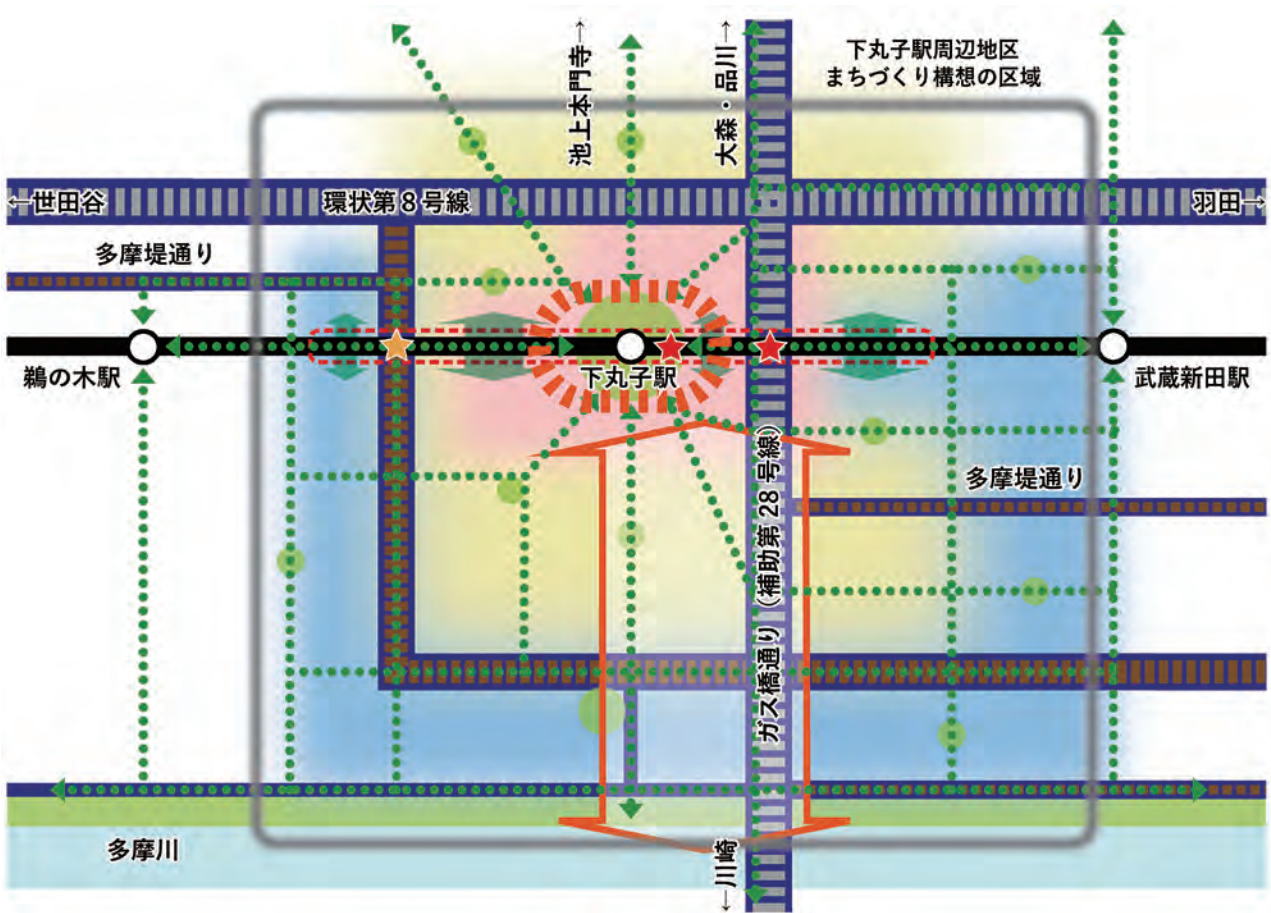
- 商業施設や大田区民プラザ等が集積する『駅前拠点ゾーン』
- 駅前拠点ゾーンの外側に広がる良好な住宅地と小売商業が混在する『生活交流ゾーン』
- 近隣住区ゾーンの外側に広がる、住宅と町工場等が混在する『住工共生ゾーン』

〈4つのネットワーク〉

- 『鉄道』『歩行者』『自動車』『自転車等』から構成され、道路と鉄道の立体化によりこれらのネットワークの充実を図る

下丸子駅周辺地区の将来都市構造図(概念図)

※下図は概念図であり、整備等が決定したものではありません



■凡例 【ゾーン】 駅前拠点ゾーン 生活交流ゾーン 住工共生ゾーン 【機能】 拠点機能の集積 (交通結節機能、生活機能等) 広場・公園・河川敷	【ネットワーク】 鉄道関連 東急多摩川線 鉄道立体化検討範囲 対策が必要な法指定踏切 法指定踏切 (対策済み)	【ネットワーク】 歩行者ネットワーク 駅と多摩川を結ぶアクセスルート 歩行者ネットワーク 鉄道南北回遊ネットワーク	【ネットワーク】 自転車ネットワーク 自転車ネットワーク 自動車ネットワーク 幹線道路 補助幹線道路
---	---	--	--

I
II
III
VI
V
VI
VII
VI 下丸子駅周辺地区の将来都市構造

(参考) 下丸子駅周辺地区のまちづくりコンセプトが実現した場合の具体的な場所のイメージ

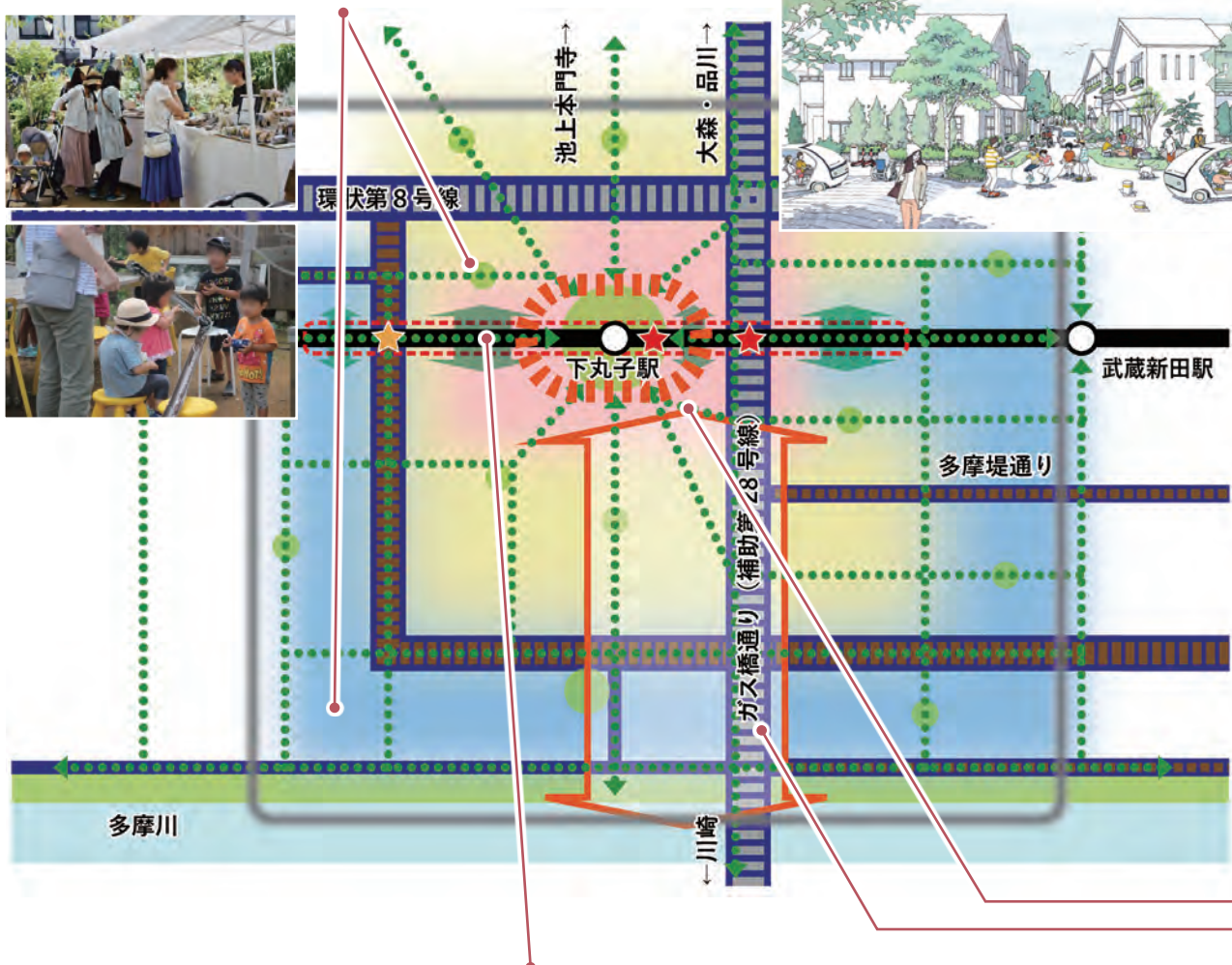
※あくまでイメージであり、整備等が決定したものではありません。

●点在するポケットパークやマンション等の公開空地の活用イメージ

(出典：HELLO MARKET (千葉市))



●生活交流や住工共生ゾーンにおける道路空間のイメージ (国土交通省)



【道路と鉄道の立体化により新たに生まれる空間 (高架下または鉄道上部空間)】

○機能・役割

- 〈目指すまちの姿①〉 鉄道を横断する交差道路・通路の整備による回遊性向上
- 〈目指すまちの姿②〉 ものづくりやチャレンジの場の創出
- 〈目指すまちの姿③〉 生活支援施設の確保 (子育て、福祉、商業施設等)

○イメージ

●ものづくりの場のイメージ

(出典：梅森プラットフォーム)



●生活支援施設のイメージ

(出典：nonowa)



【駅前】

○機能・役割

〈目指すまちの姿①〉 モビリティ・ハブ（交通結節空間）／駅前の周辺施設と一体的な広場空間

〈目指すまちの姿②〉 インキュベーション施設

〈目指すまちの姿③〉 防災拠点／駅前広場と一体的な交流拠点／生活支援施設（子育て、福祉、コワーキングスペース等）／地域活動や個人の思い思いの過ごし方ができる広場

〈目指すまちの姿④〉 エリアプラットフォームの活動拠点

○イメージ

●モビリティ・ハブのイメージ（出典：国土交通省）



●駅前の広場空間のイメージ（出典：日向市）



●インキュベーション施設のイメージ（出典：KOIL）



●コワーキングスペースのイメージ（出典：六郷BASE）

【下丸子駅と多摩川を結ぶ
アクセスルート】

○機能・役割

〈目指すまちの姿①〉

安全・安心な歩行空間の確保

〈目指すまちの姿③〉

多摩川へ足を運びたくなるような
歩いて楽しい空間形成、自転車の
アクセス性向上

○イメージ



【歩行者優先の道路（商店街）】

○機能・役割

〈目指すまちの姿①〉

人中心の街路空間、賑わいの創出

〈目指すまちの姿③〉

巡りたくなるような歩いて楽しい空間形成

○イメージ

●商店街のイメージ

（出典左：県庁通り（岡山市）、右：さかさ川通り（大田区））

